

# 設立趣意書

2020年6月26日

一般社団法人東京都ポールdeウォーク推進協議会設立総会

わが国は、1986年に男女ともに平均寿命世界一を達成し、来る2025年には75歳以上の人口が二千万人以上になるというまさに超高齢社会を迎えています。

そして、今日、わが国の最大の課題は健康寿命の延伸です。それは、国民が健康で、日常生活が制限されることなく、元気にいつまでも社会の一員として活動できること。すなわち、高齢者は支えられ、ケアされるのではなく、高齢者自身が自ら健康づくりの主役になり、いつまでも地域の人たちと楽しく活動できる社会を実現することです。

私たちは、二本のポールを持って歩く運動を「ポールdeウォーク」と総称して、各地に“街角のスポーツ”として広く普及を図りたいと念願しました。

この運動の価値あるところは、ポールを持つと、自然に仲間と語らいながら正しい姿勢で街歩きをすることにより、体力もつき、誇らしい気持ちになれることです。また一緒に取り組むことから自分たちの生活だけでなく地域をも活性化できることです。そのことに私たちは大きな誇りをもっています。

今、人と人の関係性が都会でも地方でも結びにくくなり、とても問われている時代です。全国各地の街角にみんなでお互いに支えあえるような居場所“みんなのおうち”づくりや、自分たちの住む地域をみんなで支えあう社会連帯の関係を、この「ポールdeウォーク」を基盤にしてぜひみんなで作っていきましょう。

そういう中で、コロナ嵐が世界中に吹き荒れ、わが国では「三密対策」が厳しく問われています。

私たちはこれまで集団活動を基本として楽しく推進してきた「ポールdeウォーク」を、これからは“withコロナ”の時代にふさわしい、個人活動としても充分に楽しめる“マイスポーツ”としても展開してまいります。

人類が長年にわたって夢にまで見てきた健康で長生きできる時代を迎え、誰もが元気に過ごしやすいまちづくりを祈念して、私たちはここに、一般社団法人東京都ポールdeウォーク推進協議会を設立いたします。